



アートを楽しむ ～たけはら国際芸術祭 2012～

4月7日から22日までの間、町並み保存地区一帯、吉名の瀬戸内ゴルフリゾート、忠海のカフェホクストンを会場に、たけはら国際芸術祭が開催されました。



4月7日、市民館で、オープニングクラシックコンサートが開催されました。

出演は、ソプラノの枝松瞳さん、バリトンの折川宏治さん、ピアノの岡本佳子さん。本格的なオペラのほか、ユーモアを交えた演出で、全16曲を披露しました。

最後の曲目『魔笛』では、来場者と共に、ステージ上で踊りを披露。会場からは盛大な拍手が送られ、温かい雰囲気にも包まれました。来場者からは、



「とても素敵な演出で、あつという間でした。楽しかったです。」といった感想が聞かれました。

4月14日と15日には、旧笠井邸で、ワークショップ「ガラスのアクセサリー作り」が行われました。作家ベロジャミン・サステタ・ロドリゲスさんの指導のもと、参加者は、丁寧にアクセサリー作り上げました。

アートの世界に浸った2週間。来年も楽しみですね。



4月21日、「道の駅たけはら」で、リニューアルオープンの伴うイベントが開催されました。

多くの来場者が見守る中行われたオープニングセレモニーで、小坂市長は、「多くの人々に末永く愛される道の駅になってほしい。」

と、新しい「道の駅たけはら」へ期待を寄せました。大林新駅長は、「ドライブバーや住民のみなさんが立ち寄ってみたいと思われる道の駅にしたい。」と、決意を語りました。

人々に愛される道の駅に ～「道の駅たけはら」リニューアルオープン！～



竹原の特産品などを販売する1階の売店は、品定めをする人でいっぱい。レストランは、ゆっくり食事を楽しむ人の姿が見られました。

また、2階には、竹細工の実演コーナーを、外装には、竹原の竹を使用したモニュメントを設置。竹の産地を、あらゆる角度でPRしています。

好調なスタートを切った「道の駅たけはら」。今後も、地域コミュニティの拠点として活用されそうです。

お待ちかね！たけめし再開

3月28日、竹原商工会議所で、「竹原たけめし」再開発発表会が行われました。「竹原たけめし」は、竹原タケノコ料理推進協議会のみなさんが、試行錯誤しながら生み出した「新・ご当地グルメ」。試食では、みなさん、思わず満面の笑みを浮かべていました。



新しい道路で竹原の魅力を発信！

3月31日、東広島・呉自動車道の黒瀬IC～阿賀ICで、とうくれフリーウォークが開催されました。

竹原からは、観光PR大使として、かぐや姫とかぐやパンダが登場。みなとオアシスたけはら・ただのうみの協議会が、鯛めしや豚汁を販売しました。

かぐや姫とかぐやパンダは子どもたちに大人気！鯛めしや豚汁もすぐに完売し、竹原の魅力をPRしました。

竹原のお酒を楽しんで

4月7日、中尾醸造で、蔵開きが行われました。酒蔵見学の他に、お酒を使った特産品の販売やきき酒などのイベントも行われ、多くの来場者で賑わいました。ふるまい酒を楽しみ、ほんのり赤く染まった笑顔がたくさん見られました。



入学おめでとう

4月9日、市内の中学校で、入学式が行われました。忠海中学校では、38人の新生が、夢と希望を胸に中学校生活をスタートさせました。保護者や上級生、地域のみなさんに見守られ、少し緊張した様子の新生の姿がとても印象的でした。



笑顔咲く 桜咲く 桜まつり

4月8日、バンブー公園で、桜まつりが開催されました。

満開に近い桜に囲まれた芝生の広場は、のんびりお花見を楽しむ人でいっぱい。約1万5千人の観光客が、華やかな桜の花に酔いしれました。

ステージイベントでは、かぐや姫認定式や、やっさっさ流し踊りなどが披露されました。また、飲食ブースでは、市内団体や飲食店によるうどんやお好み焼きなどの販売が行われ、行列ができるほど賑わっていました。市外からの来場者からは、「桜がとてもきれい。花が散る前にまた来たい。」といった感想が聞かれました。

電気自動車 市に贈呈

4月17日、三井金属鉱業株式会社竹原製煉所から、竹原市への電気自動車贈呈式が行われました。この日産の電気自動車「リーフ」は、充電式の環境に優しい自動車です。今後、市の公用車として、幅広く活用していきます。

